

広報



あさひ

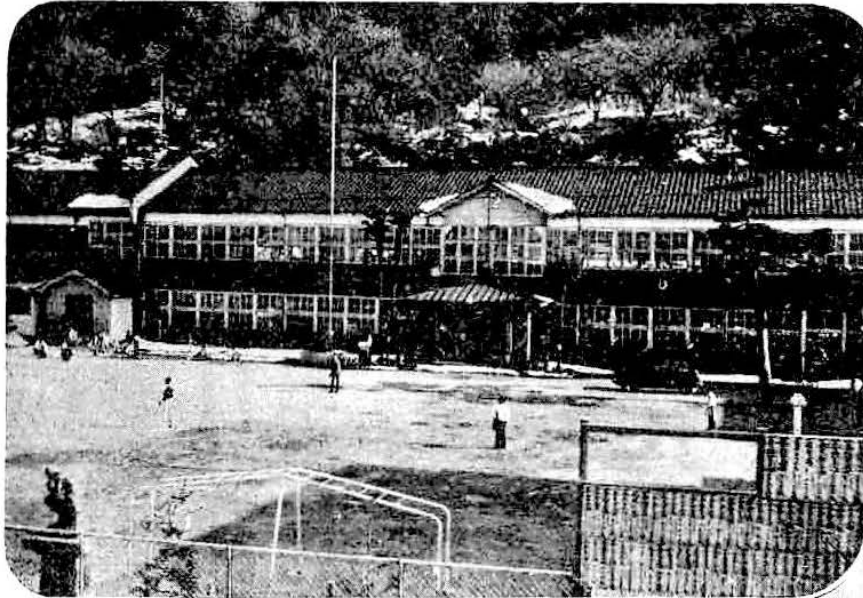
NO. 248

昭和51年4月10日発行
発行所 朝日町総務課

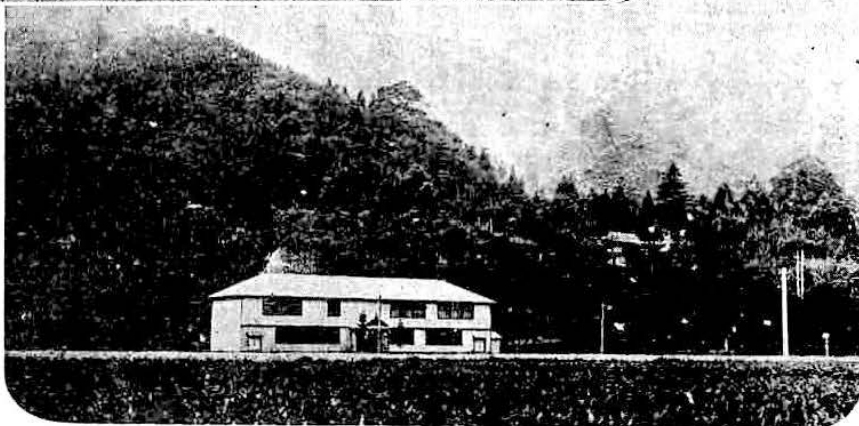
TEL(07658)3-1100 (〒939-07)

昭和32年8月8日第3種郵便物認可
毎月10日1回発行

印刷 高田印刷



現在の校舎
(明治四十四年建築)



明治時代の校舎

朝日町教育百年の歩み

境小学校

明治五年の学制発布により、境村では、大平、宮崎の両村と合議して翌六年九月に、護国寺を借り受け、三村連合小学校を創設し、護達小学校と命名して発足した。

当時の児童数は男女五十三名、仮教員として関所の役人や護国寺住職など三名が選ばれている。明治十一年、校舎の新築を機に大平、宮崎が分離独立した。

明治四十四年に現在地に新校舎が建築され、大正十一年に高等科を設置、境尋高等小学校と改称、当時の児童数尋常科二二三、高等科三四、大平分校三四であった。

戦後六三制の実施により、高等科が泊中学校境教場となり、昭和二十四年に境中学が独立している。

昭和二十九年町村合併により朝日町立境小学校と改称し現在に及んでいる。

校舎は藩政時代の由緒ある境関所跡に建設されているが、国鉄が村の北側を走り、国道八号線が部落の中を縦貫するようになり、環境必ずしも良好とはいえない。

また、昭和四十年の集中豪雨により、校舎の半身を泥土に埋没し、宿直室倒壊の大被害を受けた事は沿革史上特筆すべきことであろう。

卒業生の多くは県外に進出し土木業界に活躍して財をなす者少なくないが、社会的に著名な人物としては、司法官から行政官に転じて活躍し、終戦後満州の露と消えた渡辺蘭治氏や、医師として名を成した沖玄仙氏、農林業教育に尽した根建守照氏などがあげられる。

今月のおもな記事

- ・ 昭和51年度町長施政方針
- ・ 昭和51年度予算の説明
- ・ 第1回朝日町議会定例会
- ・ 1975年世界農業センサスの結果(その二)
- ・ 昭和51年産米の事前売渡申込数量について
- ・ 朝日町物価のうつりかわり
- ・ 朝日町職員、教職員人事異動
- ・ 朝日町消防団をはじめ数々の表彰の栄
- ・ 果米作改良選賞
- ・ 母子保健推進員を委嘱
- ・ 春の緑化運動
- ・ 第1回泊柔道錬成大会

昭和51年度

町長の施政方針

かつてない困難な
財政運営の中で

四つの基本的施策を引続き推進

総需要抑制策の長期化に伴う影響で、地方財政は深刻な打撃を受け、限りある財源がますます弱まり、新年度の財政運営は、かつてない困難に陥っております。

このような諸情勢のため、一般行政経費については極力これを抑制するとともに、財政の合理的な運営と効率的な配分に努めております。また、税収をはじめその他の収入に期待できないところから、これを補う窮余の策として、国の財政措置に頼らざるを得ない状況となりました。このため、町債への切り替えを大幅に行い、これによって財政規模の拡大をはかり、公共事業は、国・県の認証見込額を十分に受け入れ社会資本の充実と景気の浮揚をはかりました。町単独事業については、厳しい財政事情の下ではありますが、計画的、かつ、積極的に生活環境、福祉及び教育などを重点として配慮を加えております。さらに、今後の財政運営にあたっては、自主財源に多くを期待しない状況からして、地方交付税の増額や、国庫補助、負担金制度の改善などを国・県に対して強く要望し、財政の健全な運営に努めてまいりたいと存じます。



町長 中川 純一

一、生活環境の整備

地域住民が安心して生きがいのある

まず、心身障害者、老人など、弱者の福祉水準の維持向上は、重要な課題であり、財政事情の変化にもとづく低下をきたすことは許されないと考えますので、少しでもきめ細かい施策をすすめる必要があります。

生活をおくりうるためには、充実し、しかも持続性のある安定した対策のあり方を確立しなければなりません。

つぎに、従来から念頭においております予算編成の基本的な課題であります四つの柱について、その概要を申しのべたいと存じます。

児童福祉については、格差の出ている施設を整備して児童の健全育成に努めてまいります。

また、人間が最も本能的に求めるものは生命の安全であるため、地域住民の健康増進や、水資源の調査などの諸施策について、一層の充実をはかってまいりたいと存じます。

さらに、道路交通網は、住民の日常生活にかかわる問題であるため、誰もが共通して便利になる積極的な施策が必要であります。

なお、北陸自動車道の朝日区間の建設については、一日も早く用地の確保をみるよう、その促進に努力したいと存じます。

二、教育条件の整備

学校教育につきましては、急激に変動する社会に対応しつつ、伸びのびとした創造力に富む人間性を育成することが、最も肝要であると考えます。このため、教育内容と教育環境を瞬時もおろそかにすることなく一層の促進に努めてまいりたいと存じます。

また、かねてから懸案となっており、また、教育環境整備計画に基づく一連の総合的な建物の整備については、前年度をスタートの年として進めておりますが、新年度は泊小学校の改装とスポーツ施設を建設する年に当ります。

泊小学校につきましては、旧県立泊高等学校を活用したい考えであり、泊高等学校を売却し、県有財産のため工事に着手できないところから、譲り受けの時点で予算補正をし、学習の場としての機能を果たしてまいりたい所存であります。

家庭教育及び高齢者などのグループ学級の育成に努めるとともに、スポーツをみずから実践して、健康な体づくりを親しむことのできる施設整備が急務であると考えます。

三、産業基盤の整備

産業は、生活の基盤となるもので、産業の発展のない所得の向上は考えられないため、産業に従事する人々の意欲の昂揚をはかり、地域の特性に応じた生産経営に努めることが重要であります。

農業につきましては、低いコストで商品性の高い収益を上げる基盤形成のため、農業構造改善事業、農村総合整備事業などを推進することになりました。

また、継続してすすめてきております農工一体化事業の一環として鉄工団地造成を計画いたしておりますが、用地その他必要条件がととのえられる段階にいたれば、適時適正な補正を行い事業の円滑な進捗をはかりたいと考えております。

林業につきましては、森林資源の増大と林業経営の近代化を促進するため、林道網の整備をはかって収益の増高に寄与するよう努めてまいります。

水産業につきましては、第五次漁港整備及び第二次沿岸漁業構造改善事業に基づき、漁業構造の高度化をはかって、漁業経営の安定と従事者の所得の向上に努める所存であります。

山村地域農林漁業特別対策事業につきましては、本町が、この法律指定を受けて九年目を迎えますが、今年度は、全指定地域の住民を対象とした基幹集落センターを建設したいと考えております。

中小企業につきましては、企業をとりまく経済環境のよさに厳しくものがあることにかんがみ、中小企業経営の安定をはかるための融資資金預託の拡大を講じたほか、新しく商工業振興事業に補助要綱を制定して、商工業の総合的な発展に努めてまいります。

観光につきましては、美しい自然景観への観光需要に対応するため、城山周辺の全地帯を開発して、自然公園の里にふさわしいユニークなレクリエーション基地として一層の整備をはかってまいりたいと存じます。

四、郷土の保全

災害に悩む本町においては、生活と生産の場を設定している土地を絶対に守らなければなりません。

このため、治山、砂防、河川改修、海岸浸食などに、事前に手を打って、地域住民が不安のない生活ができる郷土づくりに全力をつくしたい所存であります。

以上、四つの基本的施策を目指しておりますが、低経済成長長期のもとで税収などの伸びを望めないところから、従来の予算状況とは相当ことになった様相を呈しております。

運営にあたりましては、地方財政計画を尊重しつつ、財源の重点的配分と支出の効率化、適切な管理によって、よりよい町政をめざして全力をつくしてまいりたいと存じます。

(この施政方針は、去る三月に行われ、昭和五十一年第一回定例町議会において、町長が所信の一端として申しのべたものです。)

第一回朝日町議会定例会

昭和五十一年度朝日町一般会計
歳入歳出予算ほか二十五件を可決

あらまし

昭和五十一年第一回朝日町議会定例会は、三月十日から十九日まで
会期十日間をもって開会されました。
本定例会では昭和五十一年度朝日町一般会計予算(二四億二九四七
万五千円)をはじめ条例改正など二十四議案可決、諮問一件(同意)
を決定いたしました。
請願、陳情十件については、採択五件、継続審査四件、審議未了一
件の決定がされました。

審議日程

- 3月10日 開会(町長提案理由の説明)
- 3月11日 本会議(議案説明)
- 3月12日 本会議(議案説明)
- 3月13日 本会議(質疑、一般質問)
- 3月14日 休会
- 3月15日 本会議(一般質問)
- 3月16日 文教厚生委員会、産業建設委員会(付託案件の審査)
- 3月17日 文教厚生委員会、総合計画特別委員会
- 3月18日 総務委員会
- 3月19日 本会議、委員長報告(特別委員会を含む)質疑、討論採決

可決されたもの

- 算
 - ・朝日町国民健康保険特別会計予算
 - ・朝日町国民健康保険診療施設笹川診療所特別会計予算
 - ・朝日町国民健康保険診療施設宮崎診療所特別会計予算
 - ・朝日町国民健康保険診療施設境診療所特別会計予算
 - ・朝日町簡易水道特別会計予算
 - ・朝日町南保外二地区用水特別会計予算
 - ・朝日町泊外一地区用水特別会計予算
- 算
 - ・朝日町立泊病院事業会計予算
 - ・朝日町各種委員会委員等の報酬及び費用弁償支給条例一部改正の件
 - ・朝日町消防団条例一部改正の件
 - ・朝日町税条例一部改正の件
 - ・朝日町母子医療費の助成に関する条例一部改正の件
 - ・朝日町老人医療費の助成に関する条例一部改正の件
 - ・朝日町廃棄物の処理及び清掃に関する条例一部改正の件

・朝日町道路占用料条例一部改正の件

・朝日町立泊病院事業の設置等に関する条例一部改正の件

・工事請負契約変更の件

・昭和五十一年度青年学級開設の件

・寄付採納の件

・入善町外二町舟見中学校組合規約の一部を変更する規約の適用に伴う財産の措置に関する約定について

・昭和三十九年度朝日町一般会計補正予算(第五号)

・朝日町固定資産評価審査委員会の委員を選任するため同意を求める件

・人権擁護委員候補者を推せんするため意見を求める件

採択になったもの

請願・陳情

- ▽簡易水道の整備改良工事の早期実施について
- ▽林道の舗装及び部落道の改良工事の早期実施について
- ▽宮崎小学校グラウンド整地について
- ▽松藩町内防犯灯の新設について
- ▽峰越林道用地負担助成について
- ▽朝日町鉄工業団地造成事業の助成について
- ▽松藩町内道路の改良及び水路の安全柵並びに下水道の改善について
- ▽松藩町公民館新設について
- ▽都市計画用途地域から除外し、農用地として現状維持について

審議未了になったもの

▽家庭保育手当等の支給について

常任委員長報告より

三月定例会における各常任委員会は三月十六日から開かれ、付託案件について審議され、いずれも原案通り可決と決定されたむね委員長より報告がありました。

総務委員会

審査の過程で、集落移転の件について受け入れに暖かい配慮をすること、役場前の駐車場について工夫し善処するという意見を付し、いずれも原案どおり可決と決定。

文教厚生委員会

総合体育館については、これを建設し、全体的な計画の中で十分討議するという意見を付し原案どおり可決と決定。

産業建設委員会

町花、町木の普及、またサケ、マス増殖事業については、強い行政指導をされたいという意見を付し原案どおり可決と決定。

特別委員会

日東紡増設に伴う地下
水調査特別委員会
委員会に付託された案件について審議を終了したむね報告。

総合計画特別委員会

当面する問題は総合体育館であり

適時審議し、可及的速やかに結論を出したい。

一般質問の中から

問 生活環境整備の観点から、集落の移転、急傾斜地に対する対策、移転に関し、用地の取得等についてお答え願いたい。

答 集落移転については、山村振興により一応の区切りを得たと考えている。崩壊地対策については、移転助成は予算化をした。用地については、低廉なものの取得が容易でないが、今後とも十分留意したい。

問 基本構想について、統合中、泊小、役場庁舎等一連のものであり、町政の根幹である。財政的な面もふまえて、当局、町議が胸きんを開いて自由に十分に討議することが必要ではないか。

答 ご主旨には同感である。既成事実にとらわれず財政事情を考慮し、全体のなかで審議されることは同感で、予算措置のものは、それはそれとして理解いただき立場において審議されれば幸いである。

問 病院事業会計について今後の設備投資の見込み、地域別の利用者の状況を考慮し、広域的見地から検討したらどうか。

答 現在病院は、一〇〇パーセントの病床利用である。経営的には、異った考え方もあろうが、財務については、国の医療費の改定の遅れが第一の因である。自治体病院については、従来も政府に強く働きかけており、今後も続けていく。

(設備投資見込について担当者から

概要見込について説明する。) 問 経営努力(病院)については、十分理解している。医療費改定が先決であることも理解する。医療陣容(医師)の充実について不安はないか。

答 医師の確保には十分配慮し、待遇については、許容される限りの努力をしている。良い医療を容易に受けられることは、社会福祉の大切な面であり、その点もふまえて対処したい。

問 流雪溝の設置が促進され、結構であるが、反面、末端の整備の遅れから、降雪時にあふれることが少なくない。責任体制、末端の今後の対策はどうか。

答 施設そのものは県の施設であるが、水利運用については、配慮し住民の協力を得て有効な利用について工夫をしたい。

戸籍の手数料が改正になります

五月一日から戸籍の手数料が改正になります。戸籍の謄本、抄本が現行の一枚七十円から一通二百円に改正されるのをはじめ、各種証明書類も引き上げられます。

▽戸籍の謄・抄本 一通二百円(一枚七十円)
▽除籍の謄・抄本 一通三百円(一枚七十円)
▽戸籍の記載事項証明 証明事項一件百円(一枚七十円)
▽除籍の記載事項証明 証明事項一件二百円(一枚七十円)
▽受理証明 一通百円(一枚七十円)
(カッコ内は現行の手数料です。)

機械化等によりさらに兼業の傾向

一九七五年

世界農業センサスの結果

朝日町の概要 (その二)

一、農家人口

昭和五十年二月一日現在の農家人口は、九、一三三人で、前回に比べ、一、二二三人(一一・八二ポイント)減少した。

本町総人口一九・二三六八(昭和五十年二月一日現在)に対する割合は四二・六七%で前回の五三・五八%に比べ十・九一ポイント低下した。

図一の累年の農家人口の比率が示すように減少している。

二、農業従事者

調査日前、過去一年間に農業に従事した人は六、一九六人で前回に比べ八四〇人(一一・九四ポイント)減少した。

内訳をみると「自家農業だけに従事した人」では一、〇二五人減、兼業として、「自家農業が主な人」が四五二人減というよう減少傾向にあるにもかかわらず「自家農業以外の仕事をする人」が六四二人も増加している。

このような傾向は、農業の機械化等の浸透により省力化された労働力が他産業に向けられたためだろうと予想され、今後この兼業化の傾向が進むだろう。

図 1. 総人口に対する農家人口比の推移

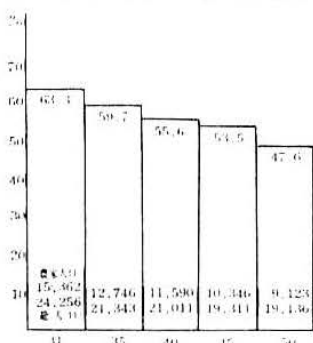
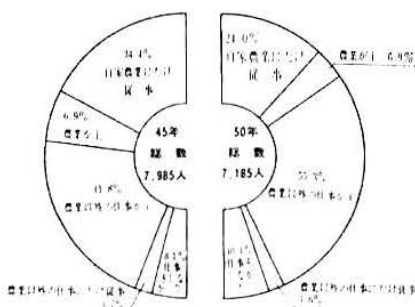


図 2. 就業状態別農家人数



消費生活グループ

佐味野教室の閉級式

昨年六月に朝日町で初めて結成された消費生活グループの佐味野教室(清水とも子学級長。三十二名)の五十年度の閉級式が、三月十日、福祉センターで行われました。

佐味野教室は、複雑多様化する消費生活に対応するため月一回の学習会を開催し、より賢い消費者となりより良い消費生活をおくることを目的として発足したものです。

五十年度は、物価、LPガスの取り扱い方、洗剤、食品保存、工場見学等、精力的な学習、実践を通じて賢い消費者を目指し、県内でも有数の消費者グループとなりました。

とくに、廃物、古物を利用した再生品コーナーでは、学級員の創意工夫がこらされ、使い捨ては美德という現代の消費傾向の矛盾を一人ひとりが実感として感じ、今後、より一層の発展を期し活動することを確認し閉級式を終りました。

昭和五十一年産米 事前売渡申込 限度数量について

昭和五十一年産米の政府が買入れする米の数量が、このほど朝日町に対し配分がありました。

今年の配分数量は、うるち米一〇三、一九五俵、もち米三、五四一俵となっており、昨年の出荷実績より六、九一〇俵の減となっております。

これは、昨年の全国的な豊作による超過米(余り米)がためたため、そ

の分を差し引いて割り当てられたもので、非常に厳しい限度数量となっております。

今後、米については、消費の拡大に努めつつ需要に即応した計画的な生産を進め、野菜等転作、食糧農産物を中心に生産振興と食糧の全体需給調整を図らなければなりません。限度数量の配分方法については、農業団体と協議し、各農協別に配分内示いたします。さらに個々の農家に配分されますのでご協力をお願いいたします。

区分	51年産米 限度数量	50年産米		
		限度数量	出荷数量	達成率
うるち米	6,191,700 ^{kg}	6,329,880 ^{kg}	6,557,160 ^{kg}	103.6 [%]
	(103,195 ^俵)	(105,498 ^俵)	(109,286 ^俵)	
もち米	212,490 ^{kg}	259,530 ^{kg}	261,600 ^{kg}	100.8 [%]
	(3,541.5 ^俵)	(4,325.5 ^俵)	(4,360 ^俵)	
計	6,404,190 ^{kg}	6,589,410 ^{kg}	6,818,700 ^{kg}	103.5 [%]
	(106,736.5 ^俵)	(109,823.5 ^俵)	(113,646 ^俵)	

かしい消費者になろう

朝日町の物価のうつりかわり

朝日町では、物価の動向を調査し、消費者行政諸施策の基礎資料を得ることを目的として、主要食料品の毎月の価格を調査しています。

このほど、昭和五十年年度の集計結果がまとまりましたのでお知らせします。

(一) うるち米が一六・八%(対四月比)の上昇を示した他は、食パン、小麦粉、即席ラーメンとも昨年は安定した価格を維持しました。安定した原因として、一昨年来の異常なまでの品不足、価格騰貴がそのまま高値安定に落ち着いたことなどが考えられます。また一時品薄が目立った即席ラーメンも現在は市中、店頭に出廻り充足されているようです。(表一)

(二) 牛肉二一・〇%(同比)、豚肉二二・九%と他の食料品に比して肉類の上昇が目立ちます。副次的製品であるハム・ソーセージが二・三%(同比)で上昇していることも注目されます。

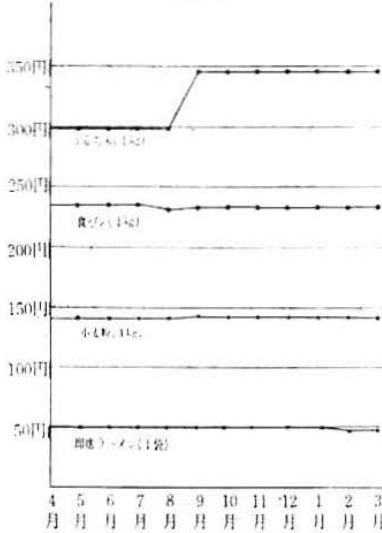
鶏卵については、需給の不安定性から食料品のうちでも最も価格の変動が著しく、栄養価の高い食品であることから消費者にとって買物の際、難しい商品の一つであるといえます。

バターについては二・五%(同比)の上昇と比較的安定した値動きを示しています。(表二)

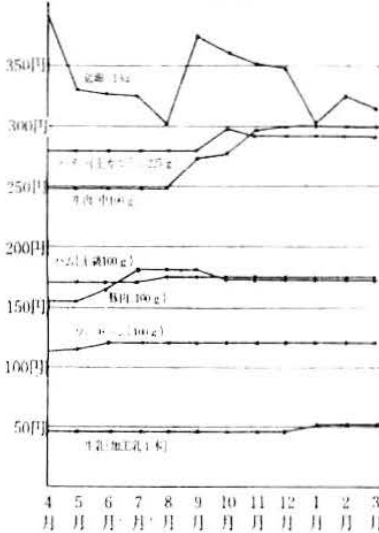
(三) 調味料関係では、砂糖が、一時の買占め、売り惜しみにより生じた異常高値が、消費者の自粛等により需給バランスが均衡、もしくは供給増、需要減となり、値くすれ現象を起こしていることが注目されます。しょう油、味噌についても需給バランスがとれているせいか比較的安定した値動きを示しています。

とろろこんぶ、干のりなどの海産食品については、例年、時期的、季節的需要と相まって、かなりの価格変動を示しますが、近年、食料品の多様化、食形態の変化等により、需要の減少傾向が見受けられ、価格も比較的安定しているようです。(表三)

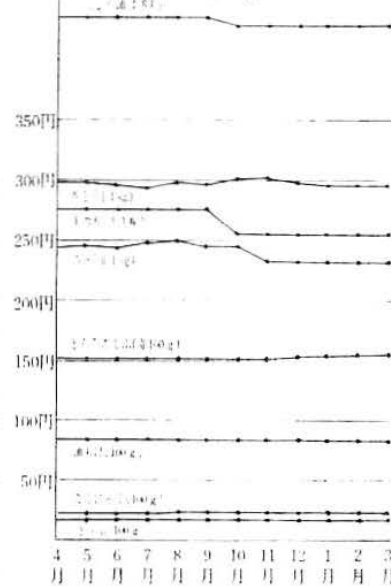
【表1】



【表2】



【表3】



日本消防協会定例表彰式

昭和五十年年度日本消防協会定例表彰式が、東京の日消ホールで行われ、朝日町消防団が優良消防団として表彰され、表彰旗を受け、また、寺田知勝(第四分団長)さんが、消防庁長官表彰を受けられました。この表彰の伝達は、去る三月十六日富山県防災センターで行われ、次の方々が表彰されました。

日本消防協会会長表彰

・優良消防団表彰

・功績章

・副団長 上沢源次

・精進章

・第二分団分団長 伊藤一郎

・副団長 上島榮作

・功績章

・消防庁長官表彰

・功績章

・副団長 寺田知勝

・功績章

・第五分団

・功績章

・第六分団分団長 水島隆二

・功績章

・第四分団副分団長 越沢希彦

・功績章

・第二分団副分団長 住吉久雄

・功績章

・第六分団副分団長 水島隆男

・功績章

・勤続銀章

・功績章

・功績章

・功績章

・功績章

・功績章



・永年勤続功労章
第四分団分団長
寺田知勝

富山県知事表彰

・功績章

・第五分団

・功績章

・第六分団分団長 水島隆二

・功績章

・第四分団副分団長 越沢希彦

・功績章

・第二分団副分団長 住吉久雄

・功績章

・第六分団副分団長 水島隆男

・功績章

・功績章

・功績章

・功績章

・功績章

・功績章

・功績章

・功績章



・優良車両
第二分団一号車
・優良機関員青色章
第一分団団長 谷口信義
・優良整備員表彰
第五分団班長 島端武雄



山崎市次郎さん
百一歳の生涯を閉じる
ことし一月に
高齢者叙勲で勲
五等瑞宝章を受
章された朝日町
の最高齢者、舟川新の山崎市次
郎さんは、三月二十七日心筋硬
ソクのため、百一歳の生涯を閉
じられました。

整備を目標に

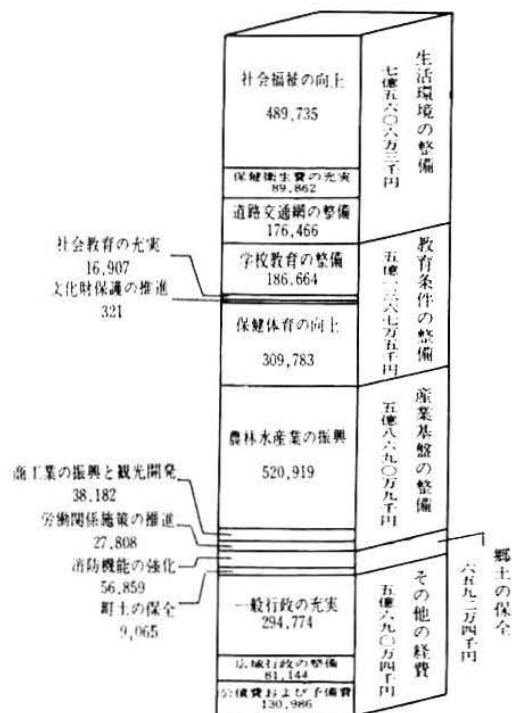
昭和51年度予算きまる

少年教育等の学級開設	174
●町民の体力づくりのために	30,978万円
町民総合体育館の建設	30,410
スポーツ教室の開設	21
学校体育施設の開放	97
町民体育大会の開催	87
住民スポーツ災害補償保険への加入	23

産業基盤の整備 資源豊かな街づくりに 58,690万円

●農林水産業の振興のために	52,091万円
農業構造改善事業	18,557万円
農村総合整備事業	3,695
農工一体化推進事業	1,283
圃場整備事業	2,205
畜産振興対策事業	552
林道の開設と舗装	7,636
造林事業	3,449
基幹集落センターの建設	7,213
漁港改築事業	1,305
沿岸漁業構造改善事業	85
漁業後継者の育成と栽培漁業の振興	30
●商工業の繁栄と観光資源の開発のために	3,818万円
商工振興と小規模事業対策	333万円
中小企業経営安定のための利子補給	51
小口事業資金あっせん融資資金預託	1,800
あさひまつりの開催	40
県立自然公園の整備	250
ふるさと歩道の新設	500

郷土の保全 防災の体制づくりに 6,592万円



四つの政策別のなかみ

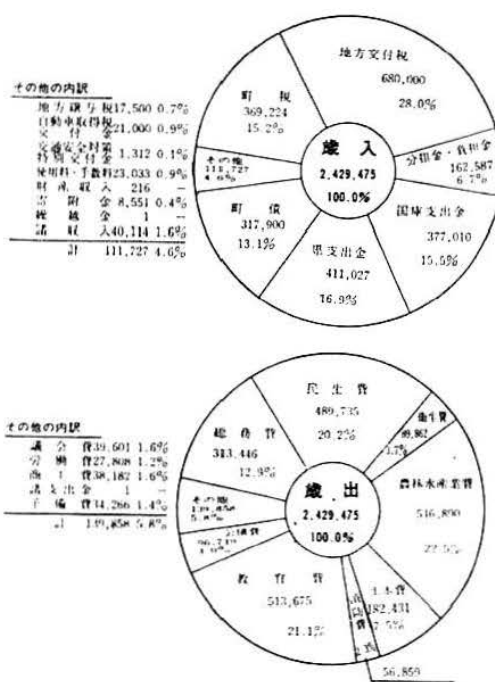
●火災の予防や救急出動のために	5,685万円
消防ポンプ自動車購入	1,000万円
けいたい用無線機の購入	46
●町土保全のために	906万円
がけ地等危険住宅移転	408万円
▶一般行政経費	29,477万円
▶広域圏行政経費	8,114万円
▶公債費	9,671万円
▶予備費	3,426万円
計	242,947万円

特別会計

1. 国民健康保険特別会計	4億4,620万円
国民健康保険特別会計については、診療報酬の改訂見込や高額医療費の増大などに対応するため、保険税を対前年度実質17.7%の引上げで1億6,605万円を見込みました。	
2. 笹川診療所特別会計	808万円
3. 宮崎診療所特別会計	632万円
4. 境診療所特別会計	1,585万円
5. 簡易水道特別会計	1,132万円
6. 南保外二地区用水特別会計	227万円
7. 泊外一地区用水特別会計	29万円

企業会計

●泊病院事業会計	10億,196万円
泊病院事業会計については、地域の実情に即した医療機関としての役割を果たすため、医師の確保や医療機械の充実を図りながら、経営の改善と健全な運営に努めます。	



一般会計予算のなかみ

町民体育館の建設をはじめ 学校教育環境の

昭和51年度 朝日町予算は、一般会計、特別会計、企業会計などを合わせて 39億3,949万円 となり、「生活環境の整備」「教育条件の整備」「産業基盤の整備」および「郷土の保全」の四本柱をたて、将来の見通しに立つた基本施策を推し進めていきます。

一般会計

24億2,947万円

歳入

町税

全体の15.2%

地方財政の中心である町税は、50年度に比べて10.4%の伸びを見込み、町民税では長期にわたり据え置かれていた個人および法人の均等割額と法人税割額が引き上げられ、1億5,313万円。

国定資産税では、資産評価替えを行って1億5,027万円、軽自動車税650万円などで、合わせて3億6,922万円であります。

地方譲与税、自動車取得税交付金については、51年度から道路整備の財源として新たに 地方道路譲与税が 設けられ、550万円の増加が見込まれ、合わせて3,981万円が見込まれます。

地方交付税

全体の28.0%

地方交付税については、景気の停滞から国税三税（所得税、法人税、酒税）が大幅に落ち込むことが予測されるため、地方交付税の伸びが期待できず、前年度実績等から4.1%の伸び6億8000万円が見込まれます。

国・県支出金

全体の32.4%

分担金および負担金については、各種事業の応益分の負担で、スーパー農道、林道、漁港、農村総合整備事業などの分担金として9,110万円。

保育料については、国の保育単価の改定等を考慮して25%引上げ7,148万円としました。

使用料および手数料については、施設維持費等を折り込んで公営住宅使用料を一律1千円の引上げをはじめ、道路占用料を2.75倍引上げるなど、実勢に適合した料金としました。

また、し尿汲取手数料についても、その料率単価と所要経費とのバランスをとるため26%の値上で、1,334万円としました。

その他の使用料および手数料は、前年度のまま据え置くこととして合わせて2,303万円が見込まれます。

国・県からの負担金、補助金等は、7億8,803万円で歳入予算全体の32.4%をしめています。

このうち主なものは

・町民総合体育館建設事業分	13,625万円
・農業構造改善事業分	17,058
・保育所新築事業分	2,680
・農村総合整備事業分	2,397
・老人医療費給付金分	6,775
・保育所運営費分	11,874
・都市計画事業分	2,200

町債

全体の13.1%

町債については、景気刺激策を基調として、町税、地方交

付税の伸びの鈍化を補うための財政対策債 3,760万円をはじめ、

・町民総合体育館建設事業分	14,350万円
・保育所新築事業分	4,380
・道路整備事業分	5,300

などで、合わせて3億1,790万円になります。

歳出

朝日町の未来のために

生活環境の整備

美しい環境づくりに75,606万円

◎町民福祉の増進のために	48,973万円
老人医療費	8,463万円
老人福祉電話の設置	50
泊南部保育所の新築	8,787
母子医療費の助成の増額	17
在宅重度身障者住宅の改善	24
保育所の運営費	22,174
老人いこいの家の設置	110
ちびっこ広場の設置	45
乳児等医療費	628
児童手当の支給	1,806
◎健康の増進と環境衛生の徹底のために	8,986万円
予防接種と住民検診	683万円
ごみ・し尿の処理	1,911
河川・海岸の美化と害虫駆除	289
地下水調査	205
公害対策	13
泊病院事業への出資・助成	2,458
簡易水道事業への助成	488
◎道路の整備のために	17,646万円
都市計画街路事業	3,781万円
道路特別改良事業	3,900
町道の改良と舗装	6,843
生活関連道路の整備	300
交通安全施設の整備	330
北陸自動車道建設の促進	51

教育条件の整備

知識豊かな人づくりに 51,367万円

◎学校教育内容の充実のために	18,666万円
学校プール設置	2,043万円
教材教具の充実	2,077
常勤講師の導入	421
自動火災報知機の整備	200
教職員の研究・研修	344
◎社会教育の普及徹底のために	1,722万円
社会教育団体の指導者、幹部研修	53万円
若妻教室等の開設	30
公民館活動費	277

一般生活資金・教育資金・住宅資金等

労働金庫が融資をします

県や市町村、労働福祉団体があなたに福祉の手をさしのべています。

中小企業や商店に働く勤労者に、富山県や県下各市町村、労働福祉事業団体が資金を出し合って「生活、結婚、教育、住宅」の各資金を手軽に低利で融資をしています。

この制度の特色

この制度は、今すぐ資金が必要の方や、現在「サラリーマン金融」で苦しんでおられる方にも簡単に、低利で、長期に貸し付けし、生活の安定と向上に役立つところに特色があります。

この制度の相談と取り扱う金融機関

この制度の相談は、県下各市町村役場（朝日町では、総務課が窓口です。）又は取り扱い金融機関であります。労働金庫本店営業部、各支店、出張所窓口（魚津市に魚津支店があります。）でご相談に応じています。

勤労者の皆さん

中小企業や商店等に働く勤労者の皆さん、皆さんのための制度です。

「サラ金」を排除しみんなで利用し、生活の安定と向上をはかりましょう。

保証の対象となる貸付と期間

(一) 一般生活資金

一 万円以上二十万円まで（二十
八か月払以内）

(二) 教育資金

二十万円以上五十万円まで（据置期間（在学中）を含め十年以内）

(三) 結婚資金

二十万円以上五十万円まで（五年以内）

(四)住宅資金(労働金庫)

金に加入の方)
三十万円から五百万円まで（元
金均等三百回（二十五年）払以
内、ただし、住宅積立預金に加
入していない場合は三百万円限
度）

☎ 相談窓口

富山県勤労者信用基金協会
(TEL(富山) 三三・一六一七二)
富山県労働金庫

(TEL(富山) 三三―六二七)
朝日町役場総務課

農業振興整備計画の

変更申請期限は

五月十日です

農業振興整備計画は、近年の農地の宅地化などによる農地の改廃が無秩序に行われる傾向が強まっているなかで、農業地域を明確にして、これを保全・形成し、合理的な土地利用を図ることを目的とした計画です。

この計画は、おおむね十年先を見通して、農業用地として利用すべき

農用地区域が設定されたもので、計画変更は原則として年一回のみ認められております。

ほ場整備が実施された農用地や、集団的にまとまっている農用地などは、農用地区域から除外できず、その他の農用地で農用地区域内にあるものを転用する場合は、農用地区域から除外申請をしなければなりません。

この除外申請の期限は、三月末日でしたが、昭和五十一年度は、五月十日となりましたので、除外申請を希望される方は、産業課農政係まで事前に協議して下さい。

なお、計画変更は、申請があつてからほぼ三か月かかり、農地転用もそれ以前にはできませんのでご配慮願います。

こくみん年金

福祉年金証書の提出を

—年金額の記入—

五月六日は、福祉年金の支払日です。

受給者の皆さんは、五月の支払いを受けたあと、証書を朝日町役場へ提出することになっています。

これは、今年の新しい年金額を証書に記入するために、皆さんから証書を一時お預りするのですが、つぎの九月支払いに間に合うよう八月中には、お手元へお返しすることにしております。

支払いを受けたらすぐ朝日町役場
住民課へどうぞ。

朝日町職員と教職員人事異動

新 旧 氏 名		主 事 教育委員會 竹内優峰	
主 査 (保 担 當)	課長代理 鍛治常二	保 育 所	大家庄保母 桜町保母 中島栄子
課長代理 住民課長代 長原 忠	庶務係長 住民係長	山崎保母	大家庄保母 泊中部保母 梅沢美佐子
企圖財政課	事丸岡文男	山崎調理師	泊小學校 中野美雪
管財係主任	主 事	山崎調理師	泊小學校 九里貞子
稅 務 課	主 事	小 任 保母	南 任 保母
課 長 總 務 課	廣川義一	南 任 保母	小 任 保母
住民稅係長 泊 病 院 谷口邦夫	醫 事 係 長	主 任 保母	小 任 保母
主 事 產 業 課	折戸咲子	榎町保母	泊東部保母 水島良子
住 民 課	河村忠喜	西部調理師	泊 中 部 加藤幸子
課長代理 國稅務課 石橋スミエ	住民係長 住民係主任	泊南部保母	泊中部保母 岩田睦子
主 事 稅 務 課	荒尾和歌子	泊中部保母	泊南部保母 勝田幸子
主 事 建 設 課	山岸寿一	泊 中 部 新 採	宮崎保母 吉崎潤子
產 業 課	井上文子	宮崎保母	泊東部保母 松本光子
主 事 住 民 課	島端惠津子	學 校	
建 設 課	長 稅務課長 住吉 寛	山崎調理師	新 採 初田賀代子
技 師 事 務 局	藤田隆義	五箇庄小學校	泊 中 部 寺田るり子
教育委員會事務局給務課	小川中學校	泊 中 部 西 部 保母所	野口理貴子
社會教育係 住民課國民 川上克己	年 金 係 長	小川中學校	山崎保母所 安達みね
主任社會教 育主事 (県派遣)	泊 小 教本村朝男	泊 中 部 學 校 調 理 師	折谷洋子
技 師 建 設 課	水島元義	教育委員會 事務局付	新 採 井 由紀美
圖 書 館		學校調理師	

全国米麦 改良協会会長賞に

藤塚の山岡さん 県米作改良選賞

富山県米作改良選賞式が、去る三月二十二日県庁で行われ、朝日町からは、昭和五十年年度において米作改良に努力された次の二名の方が受賞されました。

◎全国米麦改良協会会長賞

山岡邦彦(藤塚)

◎品種別作付面積と産米出荷状況

コシヒカリ 一・六ヘクタール

出荷量 一六〇俵(二等)

◎米作改良推進優良指導者賞

篠田 栄(草野)



藤 塚

山岡 邦彦氏

草 野

篠田 栄氏

母と子を守ろう

『母子保健推進員を委嘱』

朝日町では、妊産婦指導の強化と、乳幼児死亡をなくするため、このほど次の10名の方を母子保健推進員に委嘱しました。

この母子保健推進員の仕事は、妊産婦や乳幼児の健康についてのアドバイスをする事など、町の保健婦とのパイプ役をしていただくもので、町民のみなさんの御利用をお待ちしております。

境地区	水島 祥子
宮崎地区	野田 いの
笹川地区	長井 キヨ
泊一区	荒川 貞子
泊二区	上沢 としゑ
泊三区	高 桜 まつゑ
五箇庄地区	南 茂 正子
南保地区	近 藤 朝子
山崎地区	中 野 みつ子
大家庄地区	石 橋 信子

春の緑化運動

四月二十日～二十六日

緑化推進の普及をはかるため、今年も四月二十日から四月二十六日までの緑化運動期間中、二十三日の棚山地区内の植樹祭のほか、次の行事が行われます。

▼四月二十日 家庭緑の日

朝日町中央農協会館前広場において、午後三時頃県知事をはじめ県議会議員、農地農林水産委員長などの方々が出席され、朝日町の町花であるツツジ一、五〇〇本を配布します。

▼四月二十一日 職場緑の日

職場の緑化、情操のかん養保健運動能力の推進

▼四月二十二日 街の緑の日

公園、広場、寺社境内の緑化、山に対する感謝をし、公害の予防につとめる。

▼四月二十三日 山の緑の日

森林愛護思想の普及高揚、森林資源の培養、林野植樹の手入れを行う。

▼四月二十四日 学校緑の日

校庭の美化、学校林の造成、記念樹の愛護手入れの日です。

▼四月二十五日 緑愛育の日

樹木の愛育、森林火災防止の徹底、森林病害虫の駆除、野生鳥獣の愛育の日

▼四月二十六日 大会記念植樹の日

全県下の各家庭、職場において一斉に大会記念植樹を行う。

能登路で 青年リーダー研修

青年団体が当面している問題を究明し、その運営に必要な知識と技能を取得し、魅力ある青年団体活動の方向を見出そうと、昭和五十年朝日町青年団体指導者研修会が朝日町教育委員会主催で、このほど国立能登青年の家で開催されました。

参加者は、「青年団と青年学級」の違いや性格、「青年団体における広報の役割」などについて熱心に討議をし、これからの活動に役立てようとして話し合いました。

また、夜は全国の仲間や外国の留学生たちとキャンドルを囲み、友情の交換をし、彼等の積極的な行動に共鳴しました。

教育委員会 事務局付新 学校調理師		探 西岡喜美子	南保小教 泊 小 教 谷口 一夫	
泊 病 院		探 西岡喜美子	蛭谷分校頭 黒部 教セ 大菅 健治	
医事係長 医事係主任 野田とし子		探 西岡喜美子	五箇庄小頭 笹川 小頭 土居 三郎	
技 師 新		探 西岡喜美子	五箇庄小教 南保小教 小杉 敏夫	
技 師 新		探 西岡喜美子	宮崎小教 殿村 たみ	
護 婦 新		探 西岡喜美子	山崎小教 笹川 寿美枝	
護 婦 新		探 西岡喜美子	泊 小 教 大家庄小教 松田 博	
護 婦 新		探 西岡喜美子	泊 小 教 南保小教 大菅 キミ子	
護 婦 新		探 西岡喜美子	泊 小 教 五箇庄小教 越沢 スミ子	
護 婦 新		探 西岡喜美子	泊 小 教 入善小教 八重子	
護 婦 新		探 西岡喜美子	泊 小 教 探 長田 実	
護 婦 新		探 西岡喜美子	宮崎小教 笹川 中 郁子	
護 婦 新		探 西岡喜美子	笹川小教 委 尾山 一則	
護 婦 新		探 西岡喜美子	境 小 教 五箇庄小教 西井 雅邦	
護 婦 新		探 西岡喜美子	境 小 教 探 島瀬久美子	
護 婦 新		探 西岡喜美子	小川中教 泊 中 教 大割 輝明	
護 婦 新		探 西岡喜美子	小川中教 泊 中 教 平崎 保彦	
護 婦 新		探 西岡喜美子	泊 中 教 泊 中 教 河内 登	
護 婦 新		探 西岡喜美子	泊 中 教 小川中教 吉田 孝之	
護 婦 新		探 西岡喜美子	泊 中 教 吉島 数小平 内好子	
護 婦 新		探 西岡喜美子	字 奈月小長 東加積小教 福田 豊	
護 婦 新		探 西岡喜美子	字 奈月小長 大家庄小長 谷 俊雄	
護 婦 新		探 西岡喜美子	村山小頭 山崎小頭 長谷 弘三	
護 婦 新		探 西岡喜美子	愛本小長 南保小長 橋場 東作	
護 婦 新		探 西岡喜美子	西布施小頭 蛭谷分校頭 北 直清	
護 婦 新		探 西岡喜美子	県教育セ 泊 小 教 長崎 光雄	
護 婦 新		探 西岡喜美子	字 奈月小教 泊 小 教 近江 茂	
護 婦 新		探 西岡喜美子	村木小養 泊 小 教 養山 桂子	
護 婦 新		探 西岡喜美子	野中 小頭 境 小 教 野田 論	
護 婦 新		探 西岡喜美子	道下 小教 境 小 教 折谷 武彦	
護 婦 新		探 西岡喜美子	魚津 教事 小川中教 永井 雄次郎	
護 婦 新		探 西岡喜美子	退 職	
護 婦 新		探 西岡喜美子	桑守 哲朗	
護 婦 新		探 西岡喜美子	水島 ひろえ	
護 婦 新		探 西岡喜美子	玉松 健昇	
護 婦 新		探 西岡喜美子	居波 美雪	

活発な意見でる

管内公民館関係者研修会

朝日町教育委員会では、管内各地区の社会教育の振興を図るため、その推進母体である地区の公民館長、主事、書記の全員を対象に、去る三月十七日、小川温泉天望閣において本年度最後の研修会を開きました。

県からは指導助言者として浦田浩社教主事及び魚津教育事務所から屋木吉信社教主事の両氏を迎え、本年度秋田市において開かれた全国公民館主事研修会に参加した境公民館主事兵庫俊春氏の研修報告と問題提起をもとにして活発な研究討論が行われ十分な成果をおさめました。

郷土の伝説 西 東

弁慶の足跡石

脇子八幡宮―泊

泊の脇子八幡宮の境内に、弁慶の足跡石がある。弁慶といえは、大変大きく感ずるのは、今も昔も変わりないてあろう。このほか、西川の山の中にも弁慶が使った足跡といふ石に似た石と共に関し、全身に矢を受けて立ちあがったといわれている。

脇子八幡宮参道の階段を登りきった境内の左側に、高さ六〇、長さ二二〇、厚さ三〇センチメートルの石がある。その昔、弁慶が黒部山から一股きし、左足でこの石を踏んだときに、この石がくぼんで出来た足跡だと伝えられている。次の一股きした石は、となりの新湯泉にあるといわれている。足跡の大きさは、一六センチメートル位で、普通の人の足の大きさと変わりないが、足跡くらべをして遊んでいる子供たちにとっては、子供心に



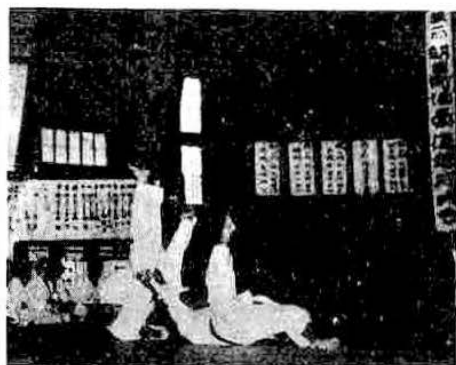
弁慶の足跡石

寒さのなか カケ声も勇ましく!!

第一回泊柔道錬成大会

泊柔道クラブ、泊柔道スポーツ少年団育成会主催の第一回泊柔道錬成大会が、三月二十日、泊小学校に町内の柔道関係者をはじめ多数が参加して行われました。

この大会は、泊柔道スポーツ少年団をはじめ、泊中学校、泊高等学校柔道クラブ員など、泊地区の柔道愛好者が一堂に会して、日ごろの鍛錬の成果を披露し、柔道に対する理解を深めるため開かれたものです。



△写真は形(かた)の披露△

男子一部は

大家庄地区優勝

町民バレーボール大会成績

男子一部	男子二部
準決勝 大家庄2-0泊一区	準決勝 大家庄2-0泊三区
決勝 大家庄2-1五箇庄	決勝 大家庄2-1泊三区
準決勝 大家庄2-0泊三区	準決勝 大家庄2-0泊三区
決勝 大家庄2-1五箇庄	決勝 大家庄2-1泊三区

決勝 大家庄2-0泊三区

女子一部

リーグ戦 泊三区2-0大家庄
泊三区2-0大家庄
泊三区2-0泊三区

女子二部

準決勝 川2-0山崎
大家庄2-0境

決勝 川2-0大家庄

総合

男子 ①大家庄 ②泊三区
女子 ①大家庄 ③泊二区

△写真はバレーボール大会△



表題シリーズ 朝日町風土記の 特集を終えて

昭和五十年年度の広報表題特集として連載しました「朝日町風土記」は町民の皆さんから大変な好評を受けましたが、一応三月を以て打切ることになりました。

当初の計画では、朝日町の全域にわたるよう計画を進めましたが、いろいろな関係から、一つの地区に片寄ったり、季節的なズレがあったりしてタイミングが合わず、つい重要

なものが抜けた点も出て申しわけなく思っております。漏れた分は、後日何かの機会に必ず紹介するつもりでおりますのでご了承をおねがいいたします。

教育百年の 連載に当って

続いて昭和五十一年度は、「朝日町教育百年史」を特集として連載いたしますが、

維新の黎明期を迎えた日本は、明治五年に「邑に不学の戸なく、家に不学の人なからしめんことを期す」という太政官布告に基づいて学制発布がなされました。

それから数えて昭和四十七年は、ちょうど百年に当たり、今日その大方の学校は、これを記念した種々の行事も行われたことであります。「温故知新」の諺を引用するのはあまりにも通俗的ではありますが、わずかの百年の間にめまぐるしいまでの進歩と繁栄、混迷と頹廢の道を歩いて来た日本は、当然その教育が然らした結果に外ならないと思えます。

祖先の歴史を受け継ぎ、現在から未来の歴史を創り上げてゆく役目を担って現代社会に生きる私たちは、ここで百年の教育の歴史をいろいろの角度から振り返り、郷土の自然や政治経済などのかかわりあいの中でどのような変遷や特色をもって今日に至ったかを見つめ、将来の朝日町における学校教育や社会教育の進むべき指標を探り当てる一資料ともなればと思ひ、この特集を試みたものです。

今月の税金

今月は、軽自動車税の納期です。
忘れず納めましょう。

固定資産税の納期は 五月三十一日(第二期)です。

固定資産税の納期は五月です。
固定資産税第一期分の納期限は、
例年四月でしたが、本年度に限り五
月三十一日になりました。

相談ごとと案内

行政相談

日時 毎月第一火曜日
午前十時～午後三時

場所 朝日町福祉センター
▽人権法律相談

日時 四月二十日
午後一時～午後四時

場所 朝日町福祉センター
▽心配ごと相談

日時 毎週火曜日
午前十時～午後三時

場所 朝日町福祉センター
TEL三〇五七六

交通事故巡回相談

①日時 第一 第三月曜日
午前十時～午後三時

場所 黒部市役所

②日時 第一 第三水曜日
午前十時～午後三時

場所 魚津 県総合庁舎

場所 魚津 県総合庁舎

場所 魚津 県総合庁舎

場所 魚津 県総合庁舎

場所 魚津 県総合庁舎

場所 魚津 県総合庁舎

場所 魚津 県総合庁舎

場所 魚津 県総合庁舎

場所 魚津 県総合庁舎

場所 魚津 県総合庁舎

場所 魚津 県総合庁舎

場所 魚津 県総合庁舎

場所 魚津 県総合庁舎

場所 魚津 県総合庁舎

朝日町連青

定期大会開く

連青では、三月七日開催された定
期大会で、「青年の生活を高める」こ
とを基調に、活動方針等を決めた。

活動方針

一、組織(校下団)を強化しよう。

一、魅力ある活動を敢行し、若者の
団結と和を広げよう。

一、地域に根ざした活動を推進しよ
う。

一、原点を見つめ直した情宣活動を
敢行しよう。

一、女子活動を育成し、強化しよ
う。

役員

団 長 越間利志雄(南保)

副団長 沢井 一男(大家庄)

大久保祥一(五箇庄)

下田 律子(泊)

事務局 永口 明弘(山崎)

善意の預託

朝日町善意銀行

社会福祉の増進のため、次のかた
から貴重な善意の預託がありました
厚くお礼申しあげます。

壱万八千円也

あびす 会殿

会員のみなさんからの浄財を社会
福祉の増進に役立てたいと持参さ
れたもの

参千六拾五円也

栄町 富田 竹 松殿

拾得金を社会福祉のために使って
下さいと持参されたもの

貳万円也

貳万円也

貳万円也

貳万円也

宮崎 とく 名殿

「朝日町のみなさん大変御世話
になりました」とお礼の言葉に添
えて、わずかですが、社会福祉の
増進に役立てて下さいと持参され
たもの



大家庄小学校へ

○大家庄小学校後援会(代表高田
憲次郎氏) から会議テーブル四
保管庫一、椅子二、凹面鏡八、
ウレタンマット一、雨量計一

○道下 由井一男氏から理科環境
施設装(看板、緯度方向指示板、
百葉箱、案内図、岸石図看板、
火山地層模型、風向計)

○昭和五十年卒業生一同から
キャンプ用テント一張

○蛭谷分校へ

○東京都 安部精二氏から学校図
書三十五巻

○五箇庄小学校へ

○釧路市 金井はな氏より児童図
書一〇〇冊 書架一基

○五箇庄小学校校友会から単柱式
移動高鉄棒、バスケットボード
一式、炭焼用プロパン窯、電子ベ
ースランプ(楽器、炭焼窯温度計

○笹川小学校へ

○笹川地区一同から膳写フアック
ス一台

○東京都 安部精二氏から児童図
書四十三冊

○泊 草野和夫氏からV.T.R用

○泊 草野和夫氏からV.T.R用

○泊 草野和夫氏からV.T.R用

○泊 草野和夫氏からV.T.R用

○泊 草野和夫氏からV.T.R用

○泊 草野和夫氏からV.T.R用

○泊 草野和夫氏からV.T.R用

○泊 草野和夫氏からV.T.R用

○泊 草野和夫氏からV.T.R用

○泊 草野和夫氏からV.T.R用

○泊 草野和夫氏からV.T.R用

○泊 草野和夫氏からV.T.R用

○泊 草野和夫氏からV.T.R用

○泊 草野和夫氏からV.T.R用

○泊 草野和夫氏からV.T.R用

○泊 草野和夫氏からV.T.R用

○泊 草野和夫氏からV.T.R用

○泊 草野和夫氏からV.T.R用

○泊 草野和夫氏からV.T.R用

カラー撮影機一式

おめでたと おくやみ

(昭和五十年三月十五日現在)

おすこやかに

(赤ちゃん誕生)

境 水島 範正 長男

宮崎 大浜 勉 長女

泊 青木 功 長男

青木 修 二女

田中 宗一 長女

東草野 徳竹 義一 長男

西町 谷 信男 長男

平柳 松原 秀雄 二男

沼保 松本 敏勝 長女

南保 小林 秀孝 二男

長野 瓜生 悟童 長女

山崎新 野口 昇 二男

殿町 清水 昭二 長男

三枚橋 前川 勝 長女

藤塚 森岡 正男 長女

沢本 勇 長男

勉 子

直 子

智恵子

謙 一

太郎

樹 子

英 子

寛 子

和 子

智美

輔 子

大 子

美 子

子 子

○道下 岩村 常夫

○赤川 新田 真由美

○道下 寺田 昌和

○能生町 池島 秀子

○平柳 松本 秀明

○蛭谷 長崎 雅子

○南保 谷口 清

○月山 谷口 知江

○富山市 西田 真佐夫

○金山 根塚 恵美子

○山崎 難波 興書

○名越 良子

○加藤 是よ

○大浜 菊二

○長津 清次

○折谷 いと

○亀谷 順平

○沼保 長井 きよ

○笹川 島田 文子

○泊 佐竹 梨

○東草野 坂東 よし

○平柳 黒坂 与次郎

○伊藤 幸次郎

○上野 幸次郎

○伊藤 幸次郎

○上野 幸次郎

○伊藤 幸次郎

○上野 幸次郎

○伊藤 幸次郎

○上野 幸次郎

○伊藤 幸次郎

○上野 幸次郎

○伊藤 幸次郎

○上野 幸次郎

○伊藤 幸次郎

○上野 幸次郎

○伊藤 幸次郎

○上野 幸次郎

○伊藤 幸次郎

○上野 幸次郎

○伊藤 幸次郎

みんなの保健

(決められた日時に受けられない方は)
最寄りの会場で受けてください。

< 4 月 >

事 業		対 象 者	日(曜)	時 刻	対 象 地 区	会 場	備 考
母 子 衛 生	3 か 月 児 相 談	51 年 1 月 生	22(木)	午後 1.00~2.00	全 地 区	福祉センター	母子手帳持参
	9 か 月 児 相 談	50 年 7 月 生	22(木)	午後 2.00~3.00	全 地 区	福祉センター	母子手帳持参
	股関節脱きゅう検査	51 年 1 月 生	22(木)	午後 2.00~3.00	全 地 区	泊 病 院	検 査 料 800円
	母 親 学 級	妊 婦 全 員	23(金)	午後 1.00~2.00	全 地 区	福祉センター	妊婦の栄養について
	妊 婦 検 診	妊 婦 全 員	23(金)	午後 2.00~3.00	全 地 区	福祉センター	母子手帳持参
	ツベルクリン 接 種	自 49 年 4 月 生 至 50 年 3 月 生	26(月)	午後 1.30~3.00	大 家 庄、山 崎 南 保	農業センター	母子手帳持参
	ツ 反 検 査 及 び B C G 接 種	自 49 年 4 月 生 至 50 年 3 月 生	28(水)	午後 1.30~3.00	大 家 庄、山 崎 南 保	農業センター	母子手帳持参

< 5 月 >

成 人 病	老 人 検 診	6 5 才 以 上	11(火)	午後 1.30~3.00	泊 二 区	福祉センター	老人手帳持参
	胃 の 集 団 検 診	希 望 者	12(水)	午前 9.00~10.00	泊 二 区	福祉センター	検 査 料 600円
			13(木)	午前 9.00~10.00	泊 一 区、泊 三 区	福祉センター	検 査 料 600円
母 子 衛 生	生ワクチン経口投与	自 49 年 7 月 1 生 至 51 年 1 月 31 生	14(金)	午後 1.00~3.00	境、宮 崎、笹川 泊、五箇庄、南保	福祉センター	母子手帳持参
		(2 回 服 ん で い ない 人)	14(金)	午後 1.30~3.00	大 家 庄、山 崎 南 保	農業センター	母子手帳持参
	母 親 学 級	妊 婦 全 員	21(金)	午後 1.00~2.00	全 地 区	福祉センター	赤ちゃんの育て方
	妊 婦 検 診	妊 婦 全 員	21(金)	午後 2.00~3.00	全 地 区	福祉センター	母子手帳持参
	3 才 児 検 診	自 47 年 11 月 生 至 47 年 12 月 生	18(火)	午後 1.00~3.00	全 地 区	福祉センター	母子手帳持参
	3 か 月 児 相 談	51 年 2 月 生	20(木)	午後 1.00~2.00	全 地 区	職 工 会 館	母子手帳持参
	9 か 月 児 相 談	50 年 8 月 生	20(木)	午後 2.00~3.00	全 地 区	職 工 会 館	母子手帳持参
生	股関節脱きゅう検査	51 年 2 月 生	20(木)	午後 2.00~3.00	全 地 区	泊 病 院	検 査 料 800円

母子医療費助成の 一部が改正されました

町では昨年四月から母子家庭の児童の医療費の一部を助成していましたが、四月一日から次のように改正になりました。

△対 象 △

義務教育終了前児童で、当該年度の町民税均等割課税以下の世帯に属する児童

△対象疾病△

全疾病

△助成額△

社会保険各法その他医療に関する法令等に基づく負担額を控除した額の二分の一

△助成の方法△

受診した場合医療機関の窓口で一部負担金を支払い、翌月に母子医療費助成申請書を医療機関に提出して領収書欄に一月分まとめて記入してもらい、役場へ提出して現金給付を受ける。

△手 続 き△

保険証、印鑑持参の上役場窓口で助成資格登録申請をし、受給資格証の交付を受ける。

3月の町内交通事故数

月	件数	死者	負傷者
1~2月	4	0	4
3 月	3	0	3
本年累計	7	0	7